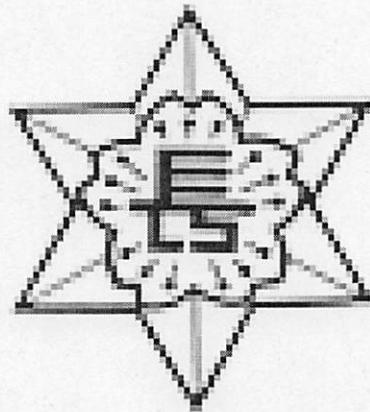


平成 29 年度

運営に関する計画



大阪市立長吉中学校

平成 29 年 4 月

目 次

1. 学校運営の中期目標
2. 中期目標に向けた年度目標（全市共通目標を含む）
3. 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上
 - (1) 授業研究を伴う校内研修の充実
 - (2) 各教科
 - ・国語 ・社会 ・数学 ・理科 ・音楽 ・美術 ・技術家庭科 ・保健体育・英語
 - (3) 自主学習習慣の確立
 - (4) 読書活動の充実
 - (5) 体育的活動の充実
 - (6) 健康的な生活習慣の確立
4. 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現
 - (1) いじめ・問題行動への対応
 - (2) 人権を尊重する教育の推進
 - (3) 道徳教育の推進
 - (4) 特別支援教育の充実
 - (5) 体験的学習の充実
 - (6) 美化・環境整備

1 学校運営の中期目標

現状と課題

8年前の、外国籍生徒の受け入れを巡り校内が紛糾し、その影響で学校の荒廃が進み、数年間は問題行動が絶えなかった。また本校の最重要課題は「低学力の克服」である。それらの改善のためには、様々な背景を抱える生徒たちが、学校は楽しいと感じ、学校で生き生きと意欲的に学び、生き抜く力を育成していかなければならない。これらを念頭に、特に次の2本の柱を中心として本計画中期目標を作成し、今後4年間の教育実践を進める所存である。

- ① 生徒自身がわからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学びあう授業を創造することによって学力向上を図る。
- ② 生徒の自立を促すために、教職員が共通認識を持った組織的な生活指導を行うとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し、教職員全体で支援する。

以前のように、「長吉中学校を荒らしてはならない」という強い信念を全教職員が持ち、本校の教育をより良い方向に導き、「生徒・教職員が安全で安心な」教育環境を守り、校訓の「明朗・強調・自立・勤勉」のもとに、生徒が生き生きとし、自ら考え行動できる長吉中学校を創る。

- 1 学校教育目標「基礎・基本の充実を図り、自ら学ぶ態度の育成に努め、学力向上を図る」「他者への思いやりのこころを育て、人権尊重の精神を養う」「知・徳・体の調和の取れた人間形成に努める」を目標として、生徒が生き生きとし、自ら考え行動できる長吉中学校生を育てる。そのためには、教科指導・生活指導・部活動の3つの調和を保ち、落ち着き、しっとりとした時間が流れる学習・活動ができる環境づくりを推進する。
- 2 学力向上に向け、積極的に習熟度別少人数授業・TTに取り組み、生徒自らが課題を発見して表現し、ともに学びあう授業を創造することに努める。そのためには6年前から続いている本校独自の「校内授業研究会」をより発展させ、先進校への視察はもちろん積極的に本校の取り組みを内外に発信するものとする。
- 3 部活動において体罰など絶対にあってはならない。本校から体罰・暴言のない、活力ある学校をつくる。生徒自らが様々な体験を通じて得られる達成感や成就感を大切にす教育活動を推し進める。「額に汗してこそ得られる喜び」を全生徒が味わえるよう教育活動の見直しを図るとともに、委員会活動や教科係等においても必ず役割を持ち、達成感を得られるような取り組みを推進する。つまり、「行事や仕事が人を育てる」ことを念頭に教育活動を執り行うものとする。
- 4 「チーム長吉」としての教職員の和を大切にし、日々の教育活動における課題解決に向けて組織的な生活指導体制とともに、いついかなる時も様々な背景を持つ生徒たちに「寄り添える」ことのできる教育を目指す。そして「小さくてもきらりと光る学校」をスローガンに教職員一人一人の教育力および人間力向上に努める。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・平成 32 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 100%にする。
- ・平成 32 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 85%以上にする。
- ・平成 32 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う生徒数を平成 28 年度より減少させる。
- ・平成 32 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を平成 28 年度より減少させる。
- ・人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、平成 32 年度末の校内調査において「学校は楽しい」など充実感を示す解答を平成 28 年度より向上させる。
- ・美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、平成 32 年度末の校内調査において「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を平成 28 年度より向上させる。
- ・地域等とも防災訓練を実施するほか、防災・減災教育を充実し、自他の命を守る意識を深める。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・平成 32 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、平成 28 年度より向上させる。
- ・平成 32 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率平均点以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より減少させる。
- ・平成 32 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率平均点以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より増加させる。
- ・平成 32 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、平成 28 年度より増加させる。
- ・平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、平成 28 年度より向上させる。
- ・平成 32 年度まで毎年、全教員が年 1 回以上、道徳や習熟度別授業を含め、指導案(授業デザイン)を作成した研究(公開)授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を広げ、定着させる。合わせて ICT 機器の活用状況と効果の高かった活用法について交流する。
- ・平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における A 問題正答率を国語科「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」で各 85%以上、「言語事項」75%以上、数学科「数と式」65%以上、「図形」70%以上、「数量関係」「資料活用」で全国平均レベルとする。
- ・卒業段階で英検 3 級以上の英語力を有する生徒の割合で中期目標の達成をめざし、本年度の英語能力判定テストで各学年での平均を昨年度比で上昇させる。

・理科教育を充実させ、生徒が行える実験を伴う授業を20回以上設定し、「観察・実験は好き」と答える生徒の割合80%以上をめざす。

自ら学ぶ態度の育成に努め、平成32年度末の校内調査において「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を平成28年度以上とし、45%をめざす。

・知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査での課題に対応した指導を強化するとともに、ニュースポーツにふれる機会も設定してスポーツに親しみ、男女とも運動能力を一層向上させる。

・学校医のアドバイスを全校生徒に伝えたり、学校保健委員会を開催したりといった方策で健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を更に減少させる。

・「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」を作成し、栄養のバランスを考えた食生活の意識を向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- ・平成 29 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。
- ・平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う生徒数を前年度より減少させる。
- ・平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ・人権尊重の精神と社会性を育成するため、体験的な学習を取り入れた教育を全学年で実施・充実させるとともに、生徒が輝き成就感を得られる自主的・体験的活動を組織し教職員全体で支援する。このことで、生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。
- ・道徳教育推進については、仲間づくりを意識した校外活動の取組や、よりよく生きるための道徳性を養う様々な取組の中で、道徳教育について考える機会を設ける。道徳の時間に限らず、各教科授業・学級活動・朝学活、学年集会等のすべての活動において道徳教育が行う。「学年だより」を活用した家庭への活動内容の紹介や校外での研修などへの参加を促し、人権教育にも貢献していく。
- ・美化活動に積極的に取り組む態度を養うとともに生徒の主体的な環境整備活動を支援し、生徒向け学校アンケート「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で肯定意見率を昨年度以上に向上させる。
- ・地域等とも防災訓練を実施するほか、防災・減災教育を充実し、自他の命を守る意識を深める。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。
- ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率平均点以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。
- ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率平均点以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より増加させる。
- ・平成 29 年度末の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- ・平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

・全教員が年1回以上、道徳や習熟度別授業を含め、指導案を作成した研究授業を行い、生徒自身の学びによって学力を向上させることをめざして、わからないことを自ら発見して表現し、ともに考えともに学び合う授業を広げ、定着させる。合わせてICT機器の活用状況と効果の高かった活用法について交流する。

・平成29年度全国学力・学習状況調査におけるA問題正答率を国語科「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」で各80%以上、「言語事項」70%以上、数学科「数と式」62%以上、「図形」65%以上、「数量関係」「資料活用」で全国平均レベルとする。

・卒業段階で英検3級以上の英語力を有する生徒の割合で中期目標の達成をめざし、本年度の英語能力判定テストで各学年での平均を昨年度比で上昇させる。

・理科教育を充実させ、生徒が行える実験を伴う授業を20回以上設定し、「観察・実験は好き」と答える生徒の割合80%以上をめざす。

自ら学ぶ態度の育成に努め、平成29年度末の校内調査において「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を昨年度以上とし、40%をめざす。

・知・徳・体の調和の取れた人間形成の一環として体育的行事を充実させるとともに、部活動への参加率を一層向上させる。

・全国体力・運動能力、運動習慣等調査での課題に対応した指導を強化するとともに、ニュースポーツにふれる機会も設定してスポーツに親しみ、男女とも運動能力を一層向上させる。

・学校医のアドバイスを全校生徒に伝えたり、学校保健委員会を開催したりといった方策で健康で楽しい学校生活を自ら作り出す生活態度を養うとともに、定期健康診断の結果による治療勧奨を行い、未治療率を更に減少させる。

・「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」を作成し、栄養のバランスを考えた食生活の意識を向上させる。

・校長経営戦略予算を活用し、芸術鑑賞の機会を年間1回以上設け、音楽や演劇・古典芸能等の芸術に触れる機会を設ける。

【その他】

3. 心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

(1) 授業研究を伴う校内研修の充実

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 (『主体的・対話的で深い学びあい』の推進)		
指標 全教員が授業指導案を作成して年に1回以上校内研究授業を行う。相互授業参観を通して年2回以上授業を参観し「授業記録シート」を提出する。放課後に行う校内授業研究会で、外部講師を招いて「主体的・対話的で深い学びあい」の授業づくりの指導を受ける。ICTの活用を目指した研修会を1回以上持ち、研究授業を1回以上行う。		
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 (学校力UP支援事業)		
指標 放課後に行う校内授業研究会（公開授業を含む）を年4回行い、外部講師を招聘する。その後に生徒の「学びあい」と「分からない」を大切にしたい授業分析と検討会を行い、研究を重ねて生徒の学力向上を目指す。また研究通信を必要に応じて年5回以上発行し、生徒アンケートで「わかる」率を前年度よりも高める。		
・ ・ ・ ・		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

(2) 各教科

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

① 国語

	進捗状況
取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 (学校図書館の活性化) 指標 図書紹介の発表会や、授業で図書室を利用する機会を年間5回は設け、読書活動の推進を図る。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学習向上への取り組み】 (学校力UP ベース事業〈習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実〉) 指標 文法、書道、三年生問題演習の授業に習熟度別授業を取り入れる。	
取組内容③【施策6 国際社会を生き抜く力の育成】 (ICTを活用した教育の推進) 指標 タブレットを使用する機会を年間5回に増やす。また、「話すこと」の指導について、生徒がICTを利用して、プレゼンテーションをする機会を設ける。	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

②社会

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策3、地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 産業界との連携を図り、学習資源の有効活用をして授業と社会をつなげる。 (マネジメント改革関連) () 指標 各学年でゲストティーチャーを招くなどをして、学校外の資源を活用した授業を年1回以上行う。	
取組内容②【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力の向上】 外部の授業研究会への参加や校内相互授業参観を通して「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)を取り入れた授業の推進をめざす。 (マネジメント改革関連) () 指標 外部団体と連携し学期に1回以上相互に授業参観を行い、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)を取り入れた授業検討会を行う。小テストなどを行い正答率を50%以上を目指す。そして生徒の評価で「わかりやすい」という割合を昨年以上にする。	
取組内容③【施策6、国際社会において生き抜く力の育成】 社会の三分野を通して、必要に応じて国際関係・国際交流の課題学習を設定して、多文化共生教育を推進する。(カリキュラム改革関連) () 指標 自作プリント教材や資料等を作成して、生徒が興味を持つ題材を提供し、多文化共生教育を推進するための課題学習などを各学年で年1回以上の頻度で取り組む。	
・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

③数学

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 プリント等の教材を利用し、繰り返し学習によって基礎・基本的な内容の定着を図る。 (理数教育の充実)	
指標 全国学力・学習状況調査におけるA問題正答率が「数と式」の領域において62%以上をめざす。また、チャレンジテストにおける正答率平均点以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より減少させる。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 生徒の学び合いが活発に行われ、数学が分かりやすいと実感が得られるような教材を研究する。 (「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進)	
指標 アンケートを実施し、理解度、満足感等の項目において、肯定的な回答で60%以上をめざす。	
取組内容③	
指標	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

④理科

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 理科に関する実験を年間20回以上行い、生徒アンケートにおいて「実験・観察が好きである」という設問に、肯定的な回答をする生徒が全学年において80%を上回るようにする。 (理数教育の充実) ----- 指標	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 基礎学力定着のために、反復学習や班活動を年15回以上取り入れる。 (「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進) ----- 指標	
取組内容③【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICT機器を取り入れた授業を、全学年において年間15回以上行う。 (ICTを活用した教育の推進) ----- 指標	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑤音楽

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 校外からの演奏会の案内等を掲示し、授業では鑑賞の領域から触れながら、音楽・吹奏楽に親しむ機会を設ける。 (音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出) 指標 鑑賞の授業、校外での演奏会を含め、年間10回以上機会を設ける。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 反復練習や、班活動を授業に取り入れる。また、校内相互授業参観を通して、主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業の推進をめざす。 (主体的・対話的で深い学び) 指標 授業アンケートを実施し、「わかりやすい」という生徒評価の項目の割合を、昨年度より向上させる。	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑥美術

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICT 機器を積極的に活用し、美術史上の名画や作品について月に1度以上鑑賞し学習する機会を設ける。 （ ICT を活用した教育の推進 ） 指標 ICT 機器を積極的に活用し、鑑賞の機会を月に1度以上設ける。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 各学期での授業課題について、完成まで取り組めるよう放課後に補習を実施し、未完成の生徒の数を1クラスにつき10人以下に減少させる。 （ 放課後を利用した学習機会の支援 ） 指標 放課後の授業補習を、各学期につき1回以上行う。	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 毎回の授業で、プリントへの振り返りを記入させる。各課題の完成後は、作品への振り返りを行い、班単位での相互鑑賞学習を行う。 （ 「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の推進 ） 指標 各学期に1回以上、班での鑑賞学習を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑦技術・家庭

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】 実践的、体験的学習を多く取り入れる中で、実習教室における安全面の設備の充実を図り、安全教育を推進する。 (安全教育の推進)	
指標 実習授業における作業前の安全確認と、作業後の安全点検を毎時間実施する。	
取組内容②【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 基礎的、基本的な授業内容の定着を図り、各自が発展的に工夫できる学習課題の設定。 (放課後を活用した学習機会の支援)	
指標 実習授業の内容を工夫し、個に応じた発展的な課題に取り組ませる。その中で、作品の完成率を91%以上を目標に、欠席者や進度に遅れのある生徒についても対応し、作品の完成をめざし、放課後を活用して補習を行う。	
取組内容③【5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 グループ活動を多く設定し、生徒同士の意見交流や教え合い活動の時間を多く設定する。 (「主体的、対話的で深い学び合い」(アクティブ・ラーニング)推進)	
指標 実習時間も含め、月2回以上グループ活動を行い、課題解決に向けてのワークシートやノートを記入させ点検する。	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑧保健体育

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取り組み】 異年齢集団（第一学年と第二学年の単学級の組み合わせ）で学習する。 （「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）の推進」） 指標 2年生が模範となり、授業規律の伝承を行っていくとともに、運動のコツや技の習得を年長者がリーダーとなり、対話的な活動の中で学んでいく。学び合いの中から、言語活動を充実させる。また、少人数（約4人）グループを編成し、運動機会を増やす。	
取組内容②【施策7、健康や体力を保持増進する力の育成】 体力向上に向けて、授業前半に補強運動や体づくり運動を取り入れる。 （子どもの体力・運動能力向上のための取り組みの充実） 指標 平成28年度の結果より上体起こし・長座体前屈は男女ともに全国平均も大阪市の平均も上回れなかったため、今年度はこの2種目において向上を目指す。	
・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

⑧英語

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ペアワーク、グループワークの形態を授業に取り入れる。 (主体的・対話的で深い学び) 指標 アンケートを実施し、「英語の授業がわかる」に対する肯定的な回答の65%を目指す。	
取組内容②【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 英語イノベーション事業の指導支援教材を授業で活用し、放課後の自主学習を実施する。 (英語教育の強化) 指標 英検対策の問題集の貸し出しや多読教材(読みトレ)を活用し、放課後の自主学習の取り組みを年間7回おこなう。	
取組内容③【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ICTを使った授業をふやし、プレゼンテーションの際にも活用できるようにする。 (ICTを活用した教育の推進) 指標 各学年で年間3回ICTを活用した授業に取り組む。	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(3) 自主学習習慣の確立

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 授業の予習・復習などに活用できる学習教材を提供する。 (教育活動のための時間の確保)		
指標「家で学校の宿題（授業の復習）をしていますか」の項目で「している・どちらかといえばしている」と答える生徒の割合を昨年度 80%より向上させる。		
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 放課後に自主学習を支援する場を計画的に提供し、 体制を組んで学習活動を支援する。 (放課後を活用した学習機会の支援)		
指標 昨年度の放課後の学習会では英検合格者が30名いたので、それ以上を目標とする。		
・ ・ ・ ・		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

(4) 読書活動の充実

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校図書館の整備に努め、より使いやすく魅力あるものとする。 (学校図書館の活性化) 指標 学校図書館の利用率・図書貸し出し数のさらなる向上	
取組内容②【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学校元気アップの内容を深め、生徒にとって身近な存在とする。 (保護者や地域住民に開かれた学校園の運営) 指標 学校元気アップとの連携、保護者やボランティアによる学校図書館支援	
取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 生徒の要望に沿った企画を立案し、学習支援を行う。 (放課後を活用した学習機会の支援) 指標 放課後学習会の継続と発展、学校元気アップによる英検講座のさらなる充実	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(5) 体育的活動の充実

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 体育的行事の柱として体育大会を開催する。保健体育の授業を始め、学校生活で学び取った姿が見られるよう、生徒系の充実をはかる。 (保護者や地域住民に開かれた学校園の運営) 指標 運営は学校とPTAが中心となっており、地域の方も招待する。多くの保護者が行事へ参加できるよう、保護者席は椅子席と立見席を設け、周知する。	
取組内容②【施策4 全ての基礎となる幼児教育の普及と質の向上】 保健体育科の授業で講師として外部指導者を招へいし、ニュースポーツ等を体験し、運動能力向上や体力増進に役立てる。 (就学前教育カリキュラムの改訂) 指標 「夢・授業」等の事業も活用し、年に2回以上体験的な学習を実施する。	
取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 新入生が部活動に興味を持ち、参加しやすい取り組みを行い、部活動参加率を向上させる。放課後を部活動の時間として有効活用し、健康的で充実した学校生活を送る。 (子どもの体力・運動能力向上のための取り組みの充実) 指標 部活動に興味を持てるように、小中連携で部活動交流会を1回以上行う。生徒にあった部活動選択のため、部活動紹介と仮入部期間を設ける。より活発な活動ができるように部活動部長会議を年3回以上開く。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(6) 健康な生活習慣の確立

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 来室統計をもとに実態に即した情報を発信し、連携を密にして支援の充実を図る。 (健康に関する現代的課題への対応)	
指標 毎月1回来室統計を発行し、早期の課題把握・定期的な情報共有を行い、連携して支援につなげる。	
取組内容②【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 自身の健康に関心を持ち栄養のバランスを考えた食生活の意識を向上させる。 (食育の推進)	
指標 食に関する指導の全体計画に基づき、生徒委員会の活動を中心に生徒に啓発活動を行う。	
取組内容③【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】 給食を通して栄養や食品についての理解を深めさせる。 (中学校給食の充実に向けた総合的な取組)	
指標 給食の喫食状況の実態を把握し、食と健康についての学習を学期に1回行う。	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

4. 子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現

(1) いじめ・問題行動への対応

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 教育相談等を活用して、生徒との信頼関係を築き、いじめや問題行動に対して毅然とした対応を行えるようにする。教育相談やいじめ調査などをもとに、いじめ防止委員会をひらき、関係諸機関との連携を図る。 (いじめ問題行動に対応する制度の活用) 指標 各長期休業後に被害調査を行う。年2回以上の教育相談を行う。また、いじめ調査を年5回以上行い、いじめの認知と解消に努める。各学期末に1回以上いじめ防止委員会を行う。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 不登校や虐待に早期対応できるようにするため、教職員同士や関係諸機関と情報交換を行える体制づくりをする。 (不登校や児童虐待などの課題への対応) 指標 不登校や虐待に関する校内研修を年に2回以上行う。生徒の情報交換する場を月1回以上つくる。また、SCやSSWと連携をとり、課題のある家庭への対応をする。	
取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 保護者や地域と連携し、問題行動の未然防止や連携を生かした指導を行えるようにする。 (保護者や地域住民に開かれた学校園の運営) 指標 長期休業中、保護者や地域と連携し、校区内巡視を2回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(2) 人権を尊重する教育の推進

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 学校生活のあらゆる場面で人権感覚を身につけさせ、個を尊重し自分や他者の痛みを理解できる生徒を育てる。 (人権を尊重する教育の推進)		
指標 大阪市が長年培ってきた人権教育の発展・継承		
取組内容②【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】 教員の人権意識を高め、より多角的な視点を得るために多くの研修の機会を設ける。 (若手教員の指導力向上と校内研修の支援)		
指標 市人教主催の各研修会への参加・地域人推委の活動への参加を呼びかける		
・ ・ ・ ・		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

(3) 道徳教育の推進

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・社会性の育成を意識した仲間づくり（校外学習・文化祭等）を行い、参加型・体験型の学習を取り入れたカリキュラムを実施する。 (道徳教育の推進)		
指標 学年、委員会などと連携を図った取り組みを行い、各学年で学期ごとにアンケートや感想文等により生徒の意識の把握に努める。		
取組内容②【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 ・各年次研修において道徳的価値について理解を深め、道徳的な判断力・実践意欲を育てる発展的な研究授業と研究討議を行う。 (学習環境の分析)		
指標 道徳的価値について理解を深め、道徳的な判断力・実践意欲を育てる発展的な研鑽した指導を行う。また上記のアンケートにおいて理解度の項目で、肯定的な回答の60%以上を目指す。		
取組内容③【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】 ・道徳教材(副読本等)を活用した道徳教育の充実を図るとともに、集会等を通して道徳心や社会性を育成する。 (若手教員の指導力向上と校内研修の支援)		
指標 ・指導内容を精選・工夫し、計画的に道徳教育を実施する。 ・全校集会や学年集会を定期的に行い、生徒の実情に応じた指導を行う。		
・ ・ ・		
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析		
次年度への改善点		

(4) 特別支援教育の充実

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 障がいの特性を把握し、一人ひとりの実態に応じた指導、支援を行う。 (インクルーシブ教育システムの充実と推進) 指標 ・チェックシートを活用し保護者と連携を取って個別の指導計画を作成する。 ・推進委員会を毎月開催し、共通理解と支援方法を具体的に検討する。	
取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 ・生徒一人ひとりに応じた学習の指導に努め、自立につながる学力や社会参加の基盤を構築する。 (教育活動のための時間の確保) 指標 ・視覚支援やICTを活用しながらスモールステップで目標を指示し学習を進める。 ・放課後、長期休暇を活用して学習補充を行う。 ・ソーシャルスキルトレーニングで適切な態度や行動を身につける。	
取組内容③【施策8 施策を実現するための仕組みの推進】 ・特別支援教育への基本的な理解と共に多様なニーズを持つ生徒への指導、支援を充実させるための専門性の向上や教育環境の整備、支援体制の充実を進める。 (若手教員の指導力向上と校内研修の支援) 指標 ・巡回相談やインクルーシブ教育推進事業を活用する。 ・伝達講習や校内研修会を推進する。	
・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(5) 体験的学習の充実

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】 生徒会活動において各生徒委員会と執行部の連携をより深める。 学校をより良くするための活動の場をつくるため、生徒議会で話し合い、キャンペーンを実施する。 (人権を尊重する教育の推進) 指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」「あいさつができた」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	
取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】文化発表会での合唱コンクールの実施や古典芸能の鑑賞によって、芸術に触れさせる。 (音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出) 指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」の項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 体験的学習を取り入れたキャリア教育を次のように推進する。 1年 職業講話を実施し、自己の個性や生き方、将来の進路を見つめ、「働くこと」への関心・意欲の高揚と学習意欲向上を図る。 2年 地域での職場体験学習を通して、勤労観・職業観を育成するとともに、規範意識やコミュニケーション能力などを習得させ、地域の方々とふれあう心を培うような活動を行う。また特色ある学科や学校の資料提供を行い、進路選択のための情報を得る。 3年 体験入学、高校見学会、説明会を通して、自ら進んで情報収集する能力を育てる。自己申告書への志望動機の記入、面接練習を通して、社会人としての自覚や態度を育てる。 (キャリア教育の充実) 指標 生徒向け学校評価アンケートの「学校での生活は楽しい」「学校でのいろいろな行事に積極的に取り組んでいる」などの項目で肯定的回答を昨年度以上にする。	
取組内容④【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 各学年で次のように体験的学習に取り組み、人権尊重の精神と社会性を育成する。 ・1年 一泊移住・校外学習・百人一首大会・球技大会を実施し社会性や自主性を育成する。 ・2年 校外学習・百人一首大会・球技大会を実施し、社会性や自主性を向上させる。 ・3年 修学旅行（民家泊を含む）・球技大会を実施し、社会性や自主性をさらに向上させる。 (教育活動のための時間の確保) 指標 生徒アンケート等で「学校は楽しい」など充実感を示す解答を昨年度以上に向上させる。	

・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(6) 健康教育

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 防災・減災教育を実施し、自他の命を守る意識を深める。 (防災・減災教育の推進) 指標・防災訓練を計画・実施するとともに、避難訓練も合わせて実施・活用し、緊急時での行動を意識させる。 ・日常生活でも、防災意識を持てるよう、防災・減災教育を行う。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 疾病、けが予防の啓発活動を行うとともに、安全な学習環境の整備に努める。 (安全教育の推進) 指標・掲示物やほけんだよりの作成に、環境委員が定期的に参加する。 ・学期ごとに破損調査を実施し、危険個所のない校内の整備に努める。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】 ・自ら進んで校内美化に取り組む態度を養うとともに、身の回りの物品を大切にす態度と社会性を養う。 ・学校内の緑化を推進し、緑地環境・社会環境に対する意識を養う。 (人権を尊重する教育の推進) 指標・日常の清掃活動が円滑になるように指導を徹底し、年間5回程度の大掃除を行う。 ・「清掃活動や環境整備活動はしっかりできている」で、肯定的率90%以上にする。 ・環境委員が中心となって、正面前の花壇周辺を整備・管理し、緑化についての広報活動も行う。	
・ ・ ・ ・	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果
—分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区名	平野区
学校名	長吉中学校
学校長名	牧野 文彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成28年4月19日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの学力向上を目指しています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・長吉中学校では、第3学年 125名

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語Aが4.8ポイント、国語Bが7.7ポイント全国平均を下回った。無回答率においても、大阪市平均、全国平均よりも高い割合である。

数学科においては、本校の正答率について、大阪市の平均正答率と比較して、数学Aは60.0に対して50.4、数学Bは41.7に対して35.9である。ともに-9.6ポイント、-5.8ポイントと大幅に下回っている。特に資料の活用の領域が大きく下回っており、数学Aでは-11.6ポイント、数学Bで-6.6ポイントとなった。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕国語Aにおいては、大阪市の平均正答率と比較して、「話すこと・聞くこと」75.7%に対して73.7%（-2.0ポイント）、「書くこと」69.1%に対して69.0%（-0.1ポイント）、「読むこと」76.0%に対して73.7%（-2.3ポイント）、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」71.0%に対して69.2%（-0.8ポイント）であった。

国語Bにおいては、「書くこと」51.3%に対して47.0%（-4.3%）、「読むこと」62.1%に対して58.8%（-3.3ポイント）であった。

各設問についてみると、A問題で特に全国平均より低かったのは、日常生活で使わない漢字・語句に関する設問、歴史的仮名遣いに関する設問であった。逆に、日常使う感じの書き取りは全国平均を上回っている。B問題においては、文章から情報を読み取って自分の考えを根拠を明確に記述する問題の無答率が高かった。グループワークで意見を出し合ったり、根拠を明確にした作文練習を授業で取り入れているが、今後さらに課題設定の工夫をして意見を論理

質問紙調査より

〔質問紙調査より〕

〔国語〕「国語の授業の内容はよく分かりますか」の肯定的回答は大阪市・全国平均を上回っている。「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか」は下回っている。

〔数学〕質問紙調査より、「数学の授業の内容はよく分かりますか」という問いに対して肯定的回答が大阪市の平均より下回っている。「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」という問いに対して肯定的回答が大阪市を上回っている。

今後の取組

〔国語〕毎時間のプリントを用いた漢字学習に、四字熟語やことわざなどの用例も盛り込みながら、継続していきたい。文章を読み取ったことに基づいて、根拠を明確に意見を書く作文練習（短作文も含めて）も続けていきたい。

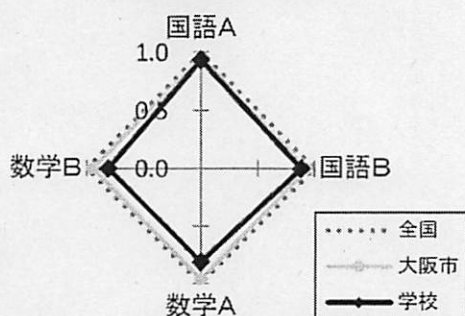
〔数学〕数学に対しての意欲は高いが、苦手意識もあり繰り返し学習は必要であると感じた。授業内容として単元が終了しても、小テストや復習の時間を取ることで定着できるようにしていきたい。

【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	70.8	58.8	50.4	35.9
大阪市	72.5	62.1	60.0	41.7
全国	75.6	66.5	62.2	44.1

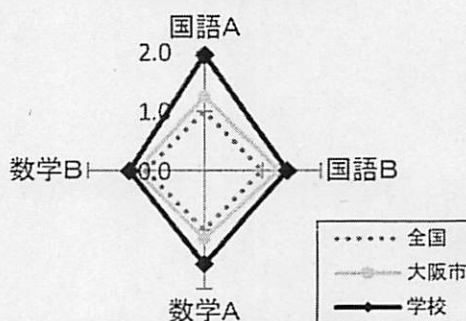
平均正答率(対全国比)



平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	3.9	6.3	9.9	18.8
大阪市	2.5	5.7	7.2	16.9
全国	2.0	4.4	6.3	14.7

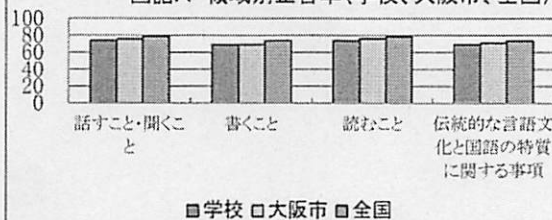
平均無解答率(対全国比)



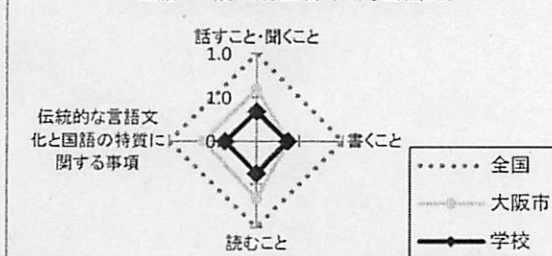
【 国 語 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	6	73.7	75.7	78.9
	書くこと	4	69.0	69.1	73.7
	読むこと	6	73.7	76.0	78.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	69.2	71.0	73.9

国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

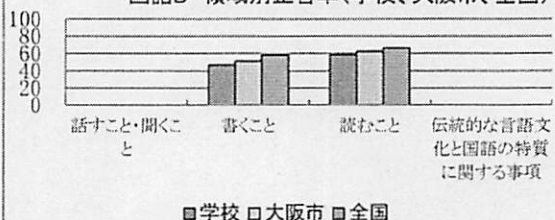


国語A 領域別正答率(対全国比)

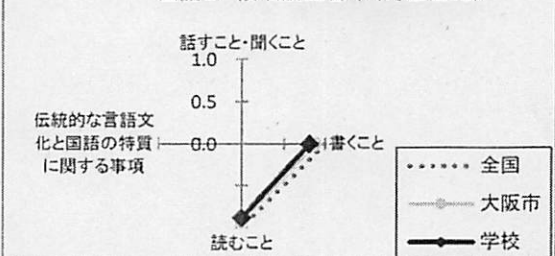


B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	—	—	—	—
	書くこと	3	47.0	51.3	58.3
	読むこと	9	58.8	62.1	66.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—

国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)

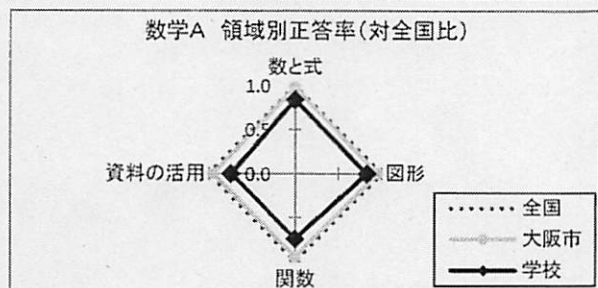
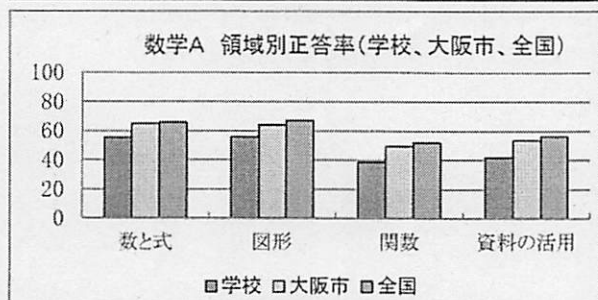


国語B 領域別正答率(対全国比)

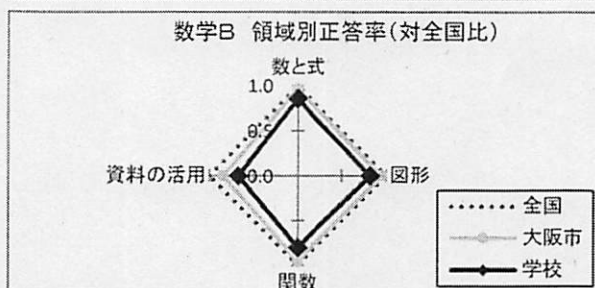
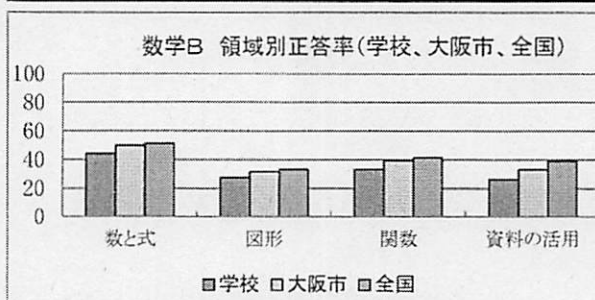


【 数 学 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	55.5	65.1
	図形	12	55.8	64.1
	関数	8	38.6	49.4
	資料の活用	4	42.1	53.7



B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	6	44.2	49.8
	図形	2	27.4	31.6
	関数	5	33.2	39.5
	資料の活用	2	26.5	33.1



生徒質問紙より

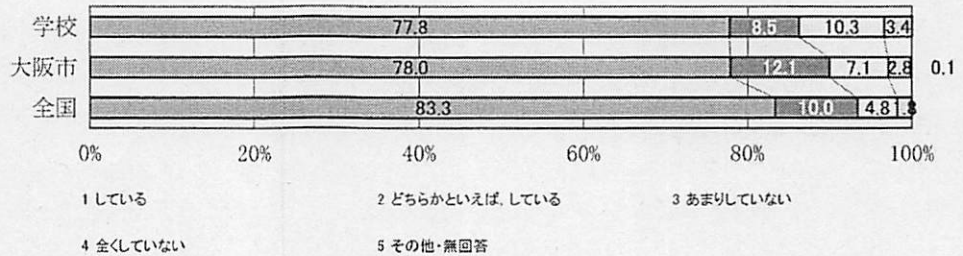
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9

質問番号

質問事項

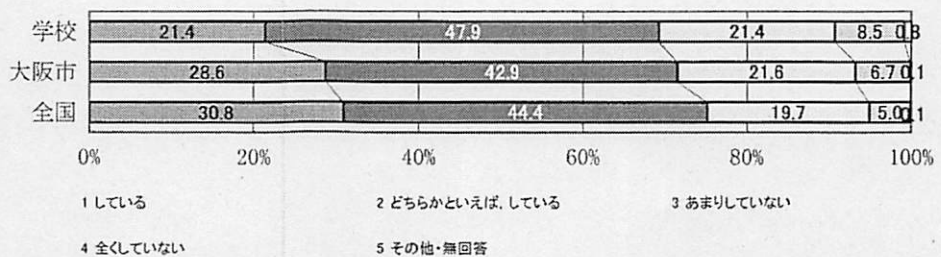
1

朝食を毎日食べていますか



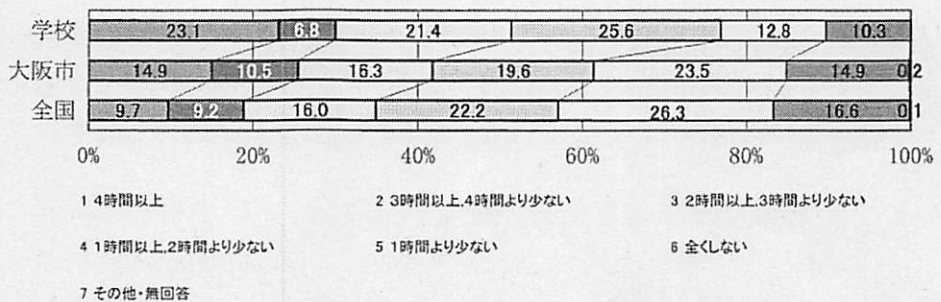
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



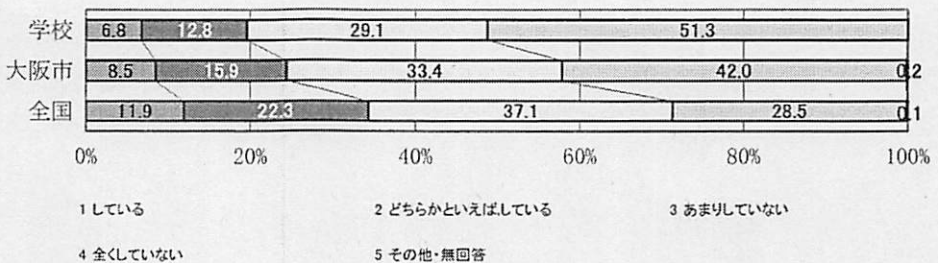
12

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



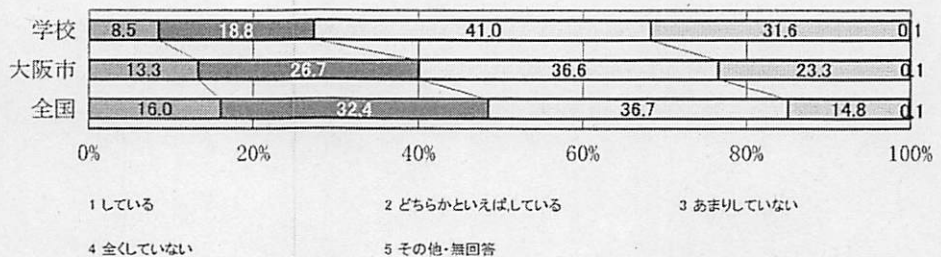
23

家で、学校の授業の予習をしていますか



21

家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



生徒質問紙より

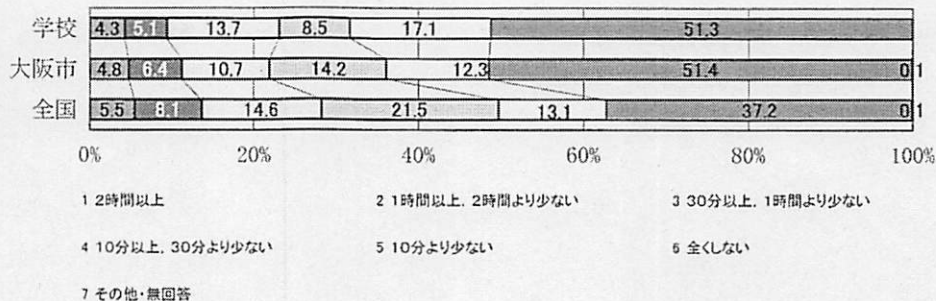
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9

質問番号

質問事項

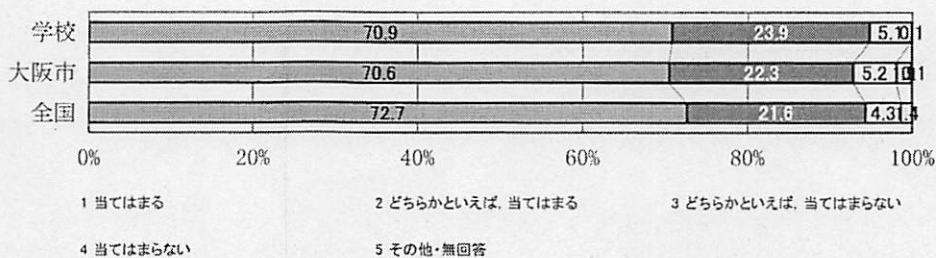
17

学校の授業時間以外に、
普段(月～金曜日)、1日当
たりどれくらいの時間、読書
をしますか(教科書や参考
書、漫画や雑誌は除く)



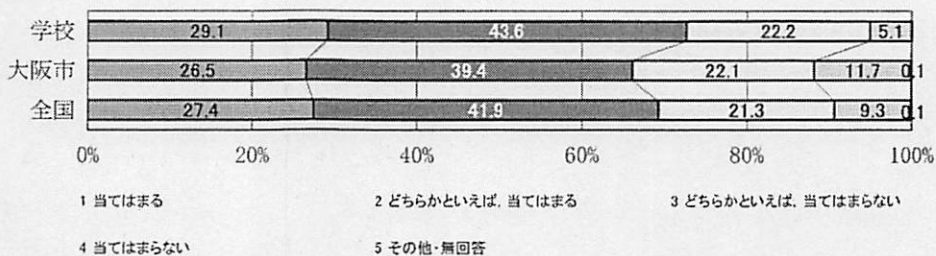
4

ものごとを最後までやり遂
げて、うれしかったことがあ
りますか



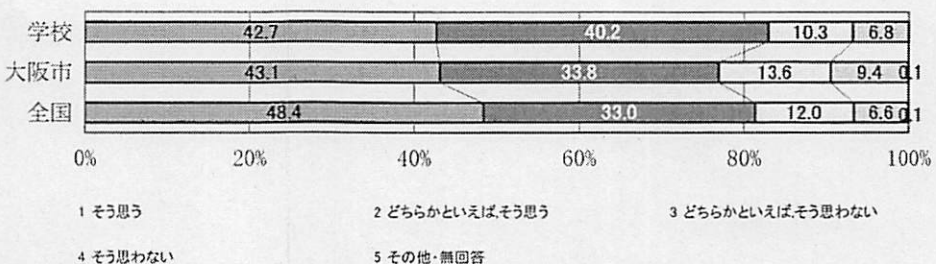
6

自分には、よいところがある
と思いますか



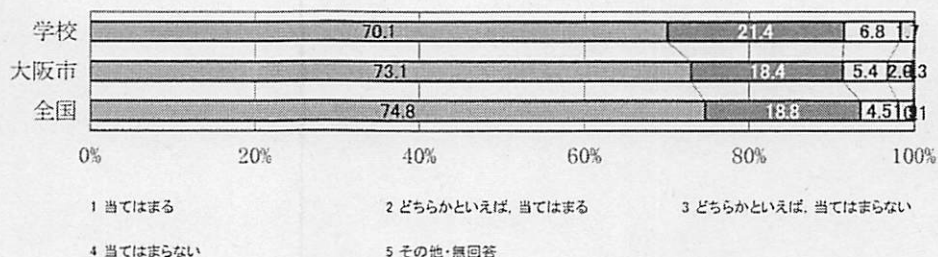
26

学校に行くのは楽しいと思
いますか



42

いじめは、どんな理由が
あってもいけないことだと思
いますか



生徒質問紙より

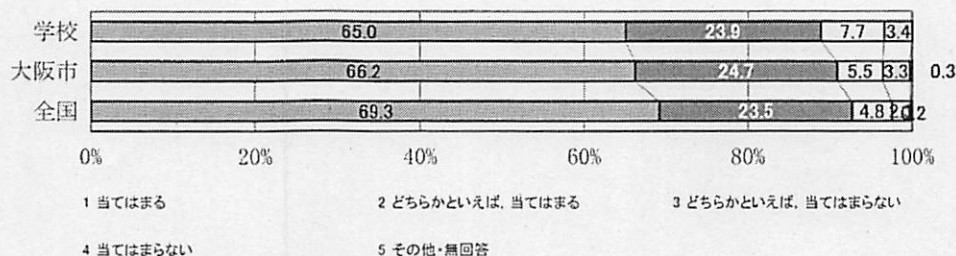
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9

質問番号

質問事項

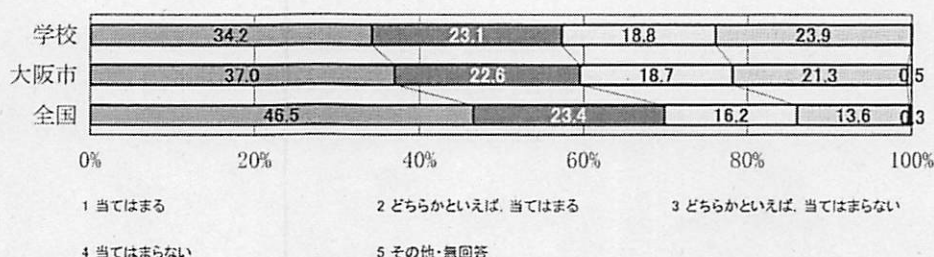
43

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



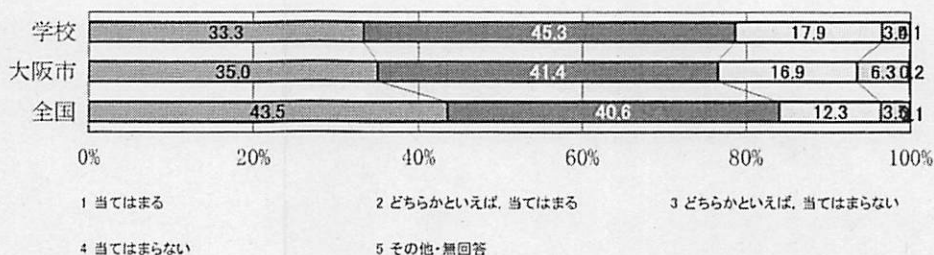
64

読書は好きですか



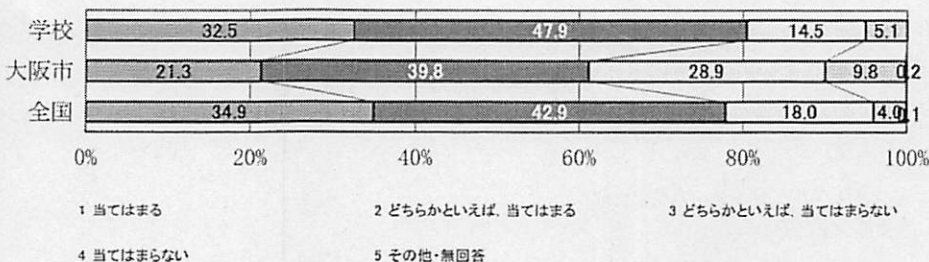
48

1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた
と思いますか



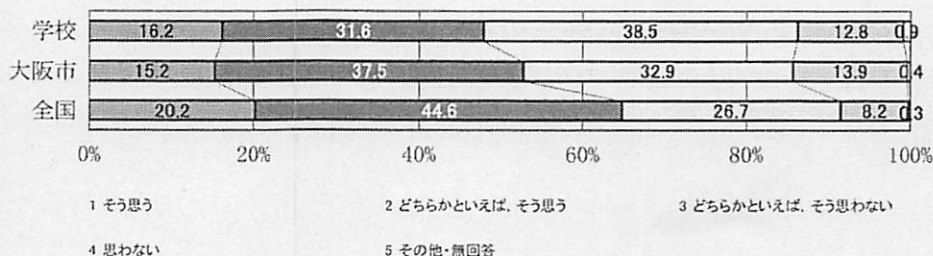
49

1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の
間で話し合う活動をよく行っていたと思
いますか



59

生徒の
間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、
広げたりすることができていると思
いますか



生徒質問紙より

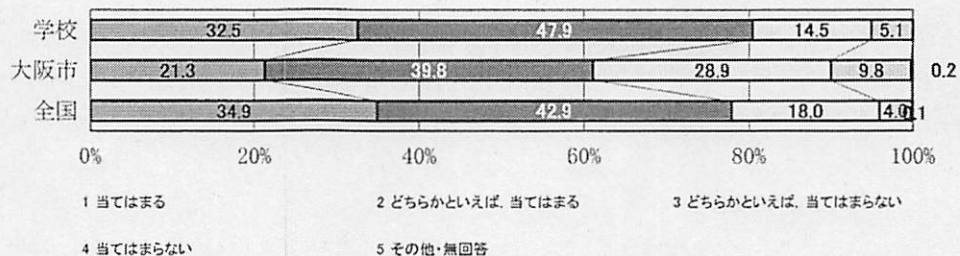
□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9

質問番号

質問事項

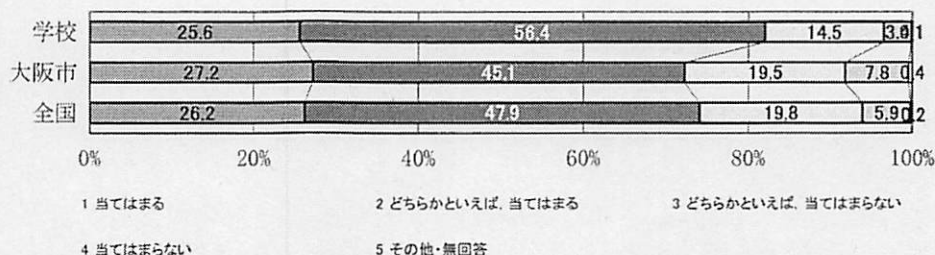
49

1, 2年生のときに受けた授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思いますか



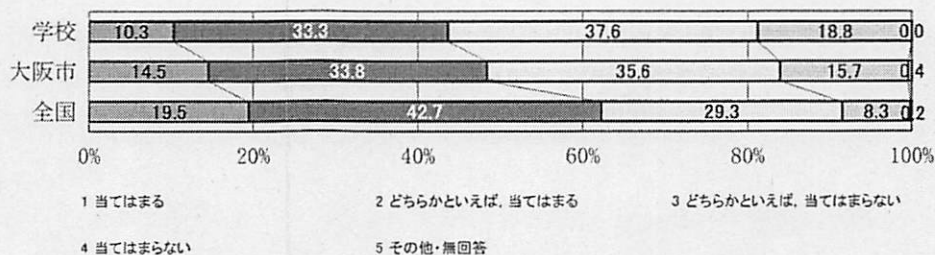
63

国語の授業の内容はよく分かりますか



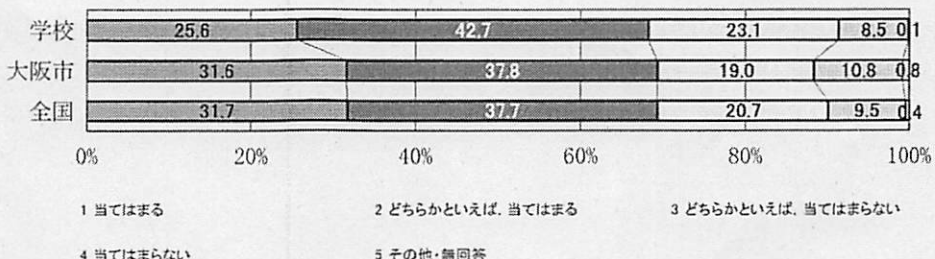
66

国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか



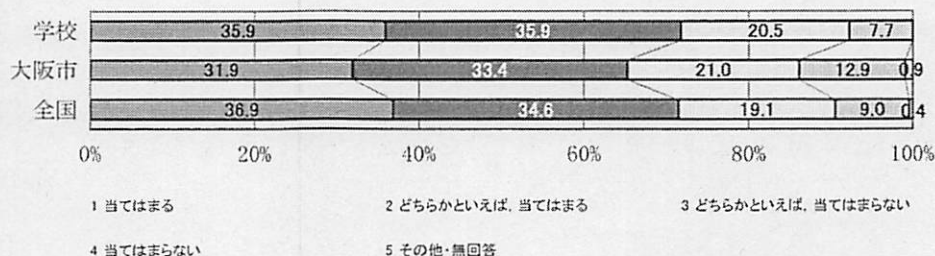
73

数学の授業の内容はよく分かりますか



77

数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

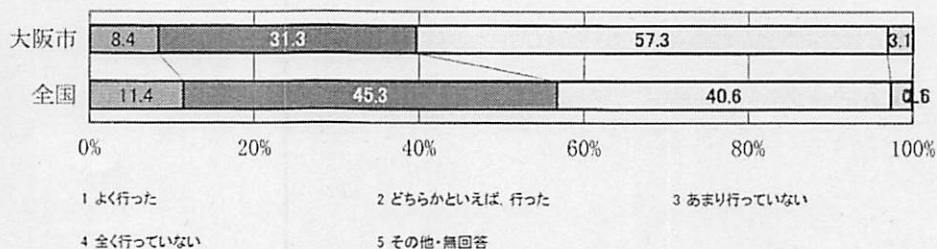
質問番号

質問事項

56

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術（パソコン（タブレット端末を含む）、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す）を活用して、子供同士が教え合

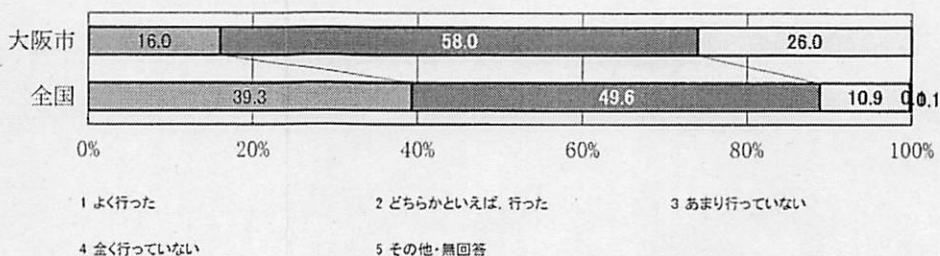
学校「あまり行っていない」を選択



41

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書くように指導しましたか

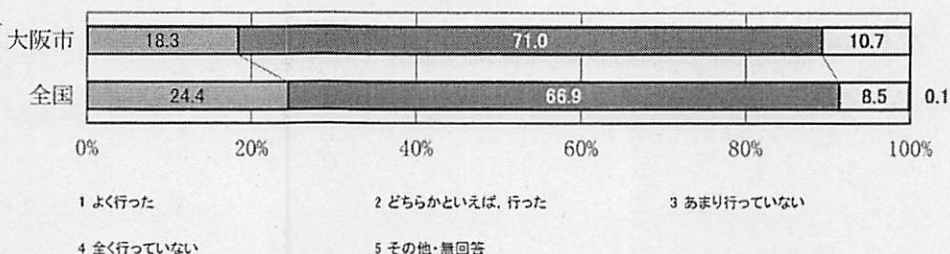
学校「どちらかといえば、行った」を選択



47

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

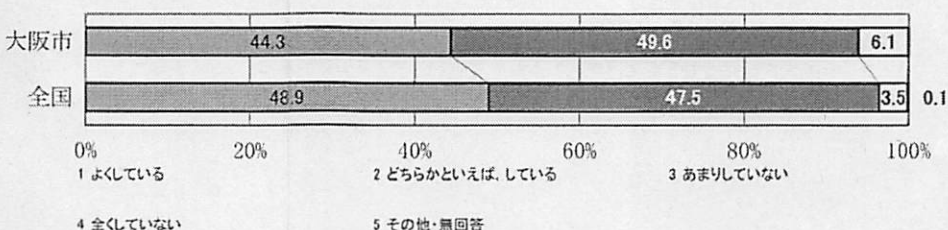
学校「どちらかといえば、行った」を選択



113

学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか

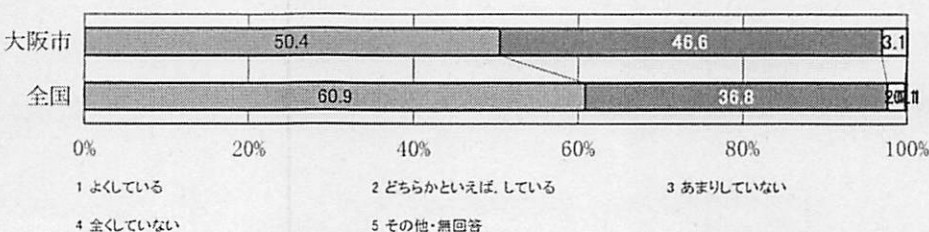
学校「よくしている」を選択



99

校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか

学校「よくしている」を選択



平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立長吉中 学 校

生徒数

113

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	28.44	26.68	36.64	46.72		84.80	7.86	194.26	21.49	40.97
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	21.88	23.00	37.45	48.80		55.15	9.03	167.27	13.73	46.40
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

【2年生男子において】50m走(全8.03市8.09長7.86)・ハンドボール投げ(全20.59市20.07長21.49)の2項目で全国・大阪市平均を上回った。また、握力(全28.91市28.06長28.44)・20mシャトルラン(全86.24市84.14長84.80)立ち幅跳び(全194.69市189.46長194.26)体力合計点(全42.13市40.63長40.97)の4項目で大阪市平均を上回った。

【2年生女子において】反復横跳び(全46.60市46.20長48.80)・ハンドボール投げ(全12.85市12.58長13.73)の2項目で全国・大阪市平均を上回った。また、立ち幅跳び(全168.28市164.75長167.27)の1項目で大阪市平均を上回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

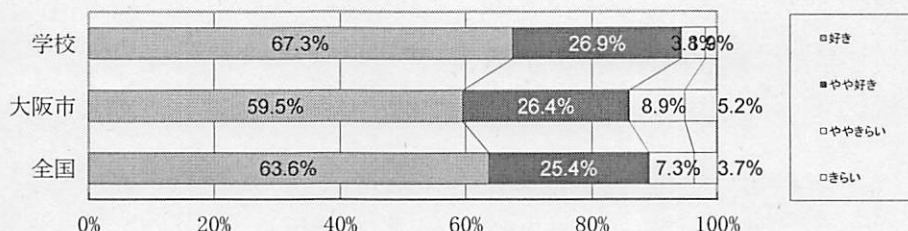
体育大会前の授業ではただ「走る」だけではなく、細かな体の動きから理解できるように取り組み、クラス間で得点を競い意欲の向上に繋げることができた。体育大会での熱中症対策としてPTAと連携を図り、生徒全員にスポーツ飲料水を配布することができた。また、各学年で球技大会を行った。また1年生では「トップアスリート夢授業」、2年生ではあ大阪体育大学より講師を招きボッチャ体験と障がい者スポーツに関する講話などの取り組みを充実させることができた。年間を通して、1・2学年において週1回男女別単学級での少人数授業や、年度初め・体育大会前の授業では2人以上でのチームティーチングを行い、お互いに観察し、よりよい運動につなげることができた。29年度は種目に応じてのチームティーチングや少人数授業の実施を計画しさらなる充実を図りたい。

運動やスポーツについて（男子）

質問番号	質問事項
------	------

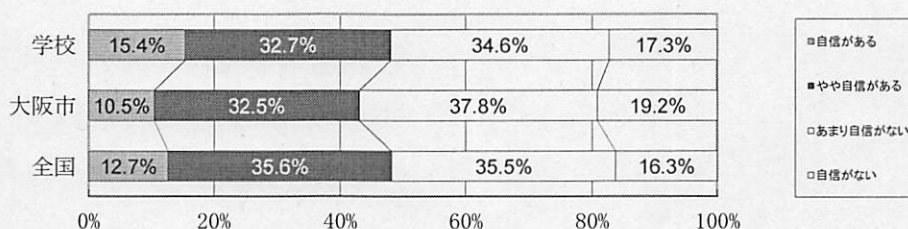
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



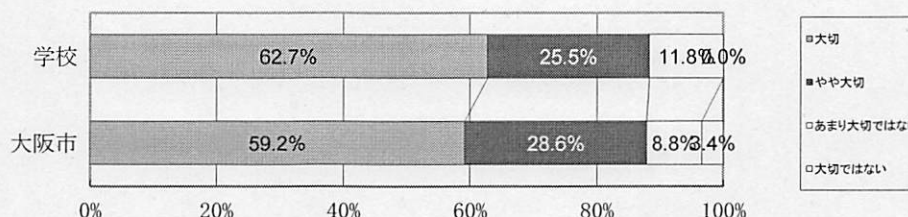
2

自分の体力に自信がありますか



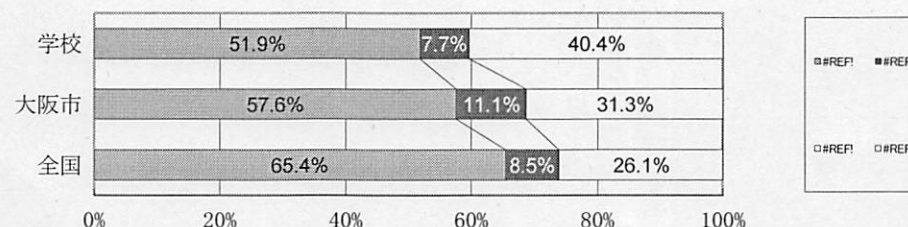
3

あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



4

中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



成果と課題

運動やスポーツが好きですかという項目で、「好き」「やや好き」と答えた生徒が90パーセントを上回ったが、自分の体力に自信がありますかという質問に対し、「あまり自信がない」「自信がない」と答えた生徒は半数を超える結果となり運動やスポーツに興味はあるが、自身の体力には自信のない生徒が多い結果となった。また運動やスポーツが大切ですか・卒業後自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますかという質問に対しては、半数以上の生徒が肯定的な意見を持っていることが分かった。

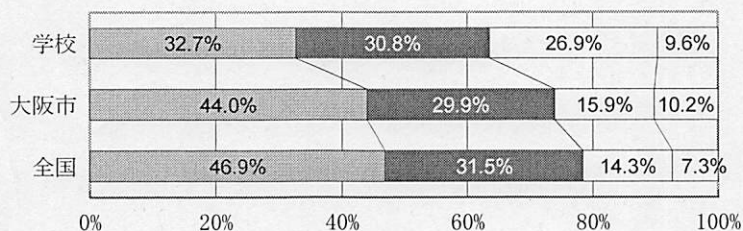
今後の取組

対象学年に関わらず本校男子生徒の多くは運動やスポーツへの興味・関心が高いことが分かった。しかし、体力には自信がないと考えている生徒も少なくないので、授業内や体育的行事での成功体験を通し不安に思っている部分を少しでも取り除けるよう取り組んでいきたい。また卒業後もスポーツや運動に携われるように、様々な競技に触れながら将来の選択肢を広げていけるよう取り組みたい。

運動やスポーツについて（女子）

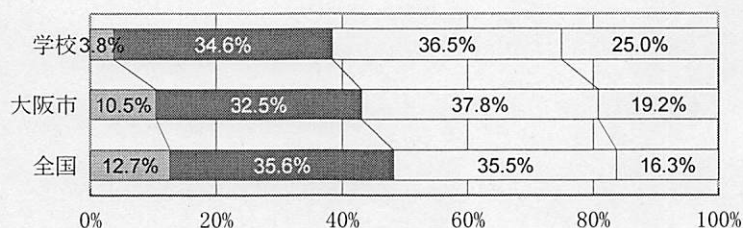
質問 番号	質問事項
----------	------

1
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



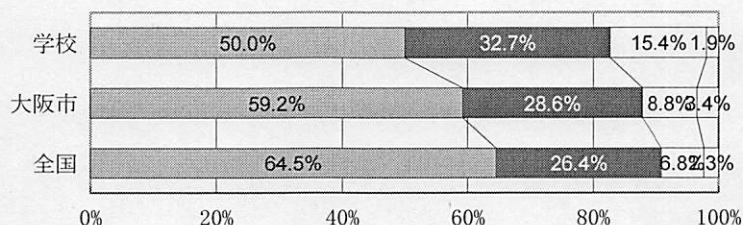
☐ 好き
☐ やや好き
☐ ややきらい
☐ きらい

2
自分の体力に自信がありますか



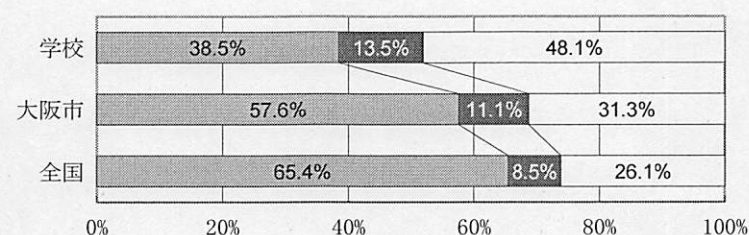
☐ 自信がある
☐ やや自信がある
☐ あまり自信がない
☐ 自信がない

3
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



☐ 大切
☐ やや大切
☐ あまり大切ではない
☐ 大切ではない

4
中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか



☐ 思う
☐ 思わない
☐ 分からない
☐

成果と課題

運動やスポーツが好きかどうかという項目に対して、「好き」「やや好き」とこたえた生徒が、63.5%と半数を超えた。体力に自信がありますかという質問に対しては「あまり自信がない」「自信がない」と答えた生徒が61.5%と先述の項目と対照的な結果となった。運動やスポーツが大切と答えた生徒が多いのに対して、卒業後に運動やスポーツをする時間を持ちたいですかという質問へは、「分からない」と答えた生徒が48.1%と半数近い結果となった。

今後の取組

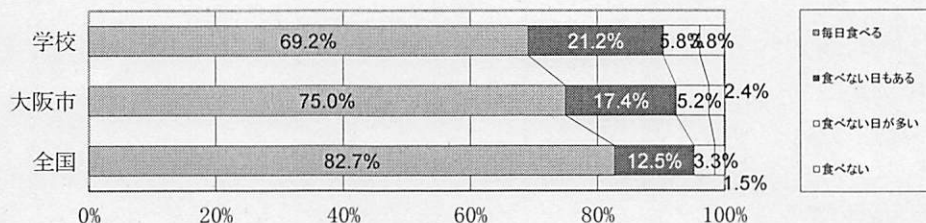
男子同様に、運動やスポーツが好きと答えた生徒に対して体力に自信がないと答えた生徒の結果が対照的となった。これを踏まえて、授業や体育的行事での成功体験を通して少しでも生徒の自信へ繋がるよう取り組んでいきたい。卒業後の運動やスポーツへの関わり方についても、様々な競技に触れ将来の選択肢をひろげていけるよう、授業や行事内で取り組んでいきたい。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

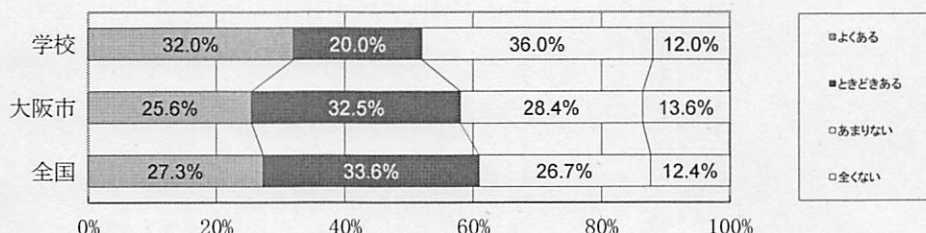
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



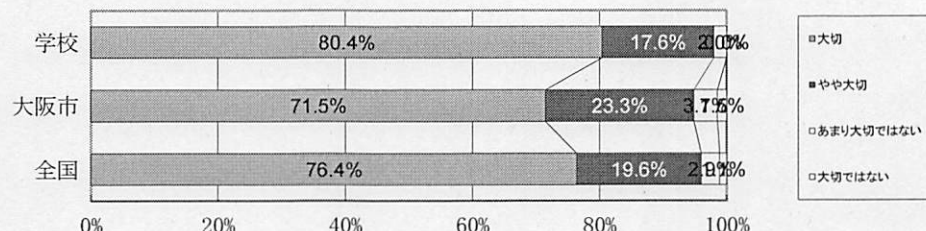
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



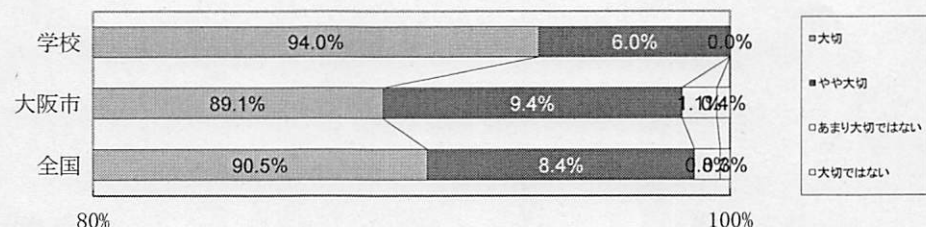
13

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



14

あなたが健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食を毎日食べますかという質問に対して「食べない」「食べない日が多い」「食べない日もある」と答えた生徒が30.8%と全国・大阪市より上回る結果となった。家の人から運動やスポーツを積極的に勧められるかという質問に対して「あまりない」「ない」と答えた生徒が48%と半数近い数値となり全国・大阪市より上回る結果となった。一方で、健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切ですかという質問に対して「大切」「やや大切」と答えた生徒は、98%と高い数値となり、健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますかという質問に対して、「大切」「やや大切」と答えた生徒が100%と両項目とも運動と食事が健康にとって大切だと考えている生徒が多い結果となった。

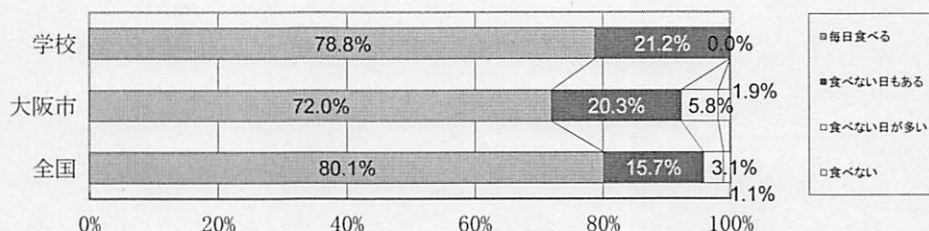
今後の取組

運動や食事が健康にとって大切だと考える生徒が9割を超えている中で、実際に朝食を毎日食べる生徒が全体の6割と意識と行動にズレがあると考えられる。今後も保健体育科・家庭科の授業内で食と健康について学びを深め、実際に行動できるよう取り組んでいきたい。また、授業内だけではなく部活動を通して運動の楽しさ・大切さに触れることによって運動への関心を高めていきたい。

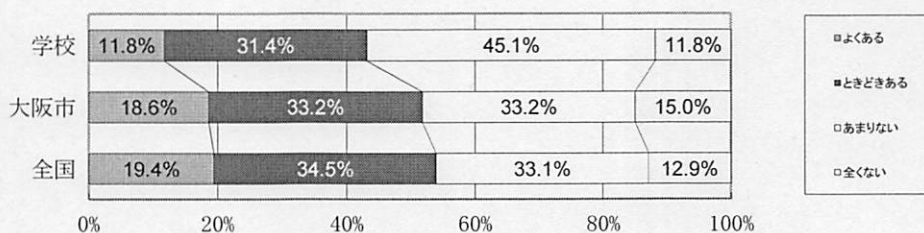
ふだんの生活について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

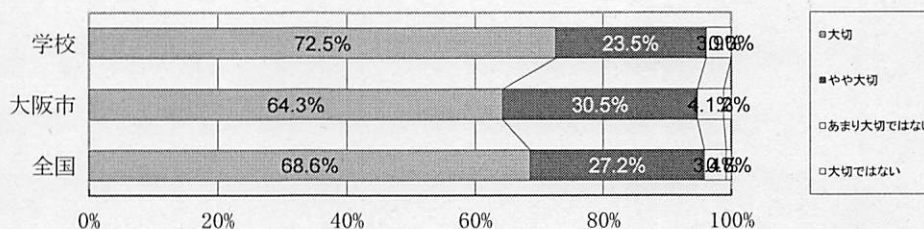
6
朝食は毎日食べますか (学校が休みの日も含める)



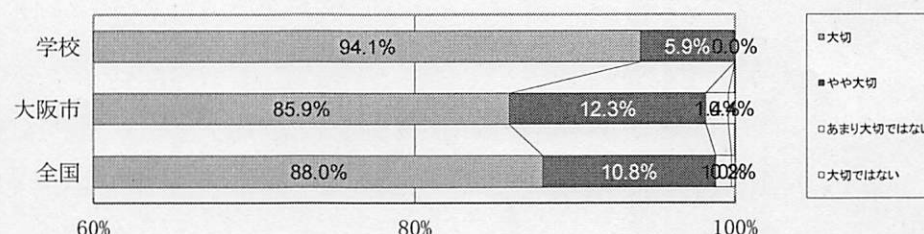
12
家の人から運動やスポーツを積極的にやることを勧められることがありますか



13
あなたが健康であるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



14
あなたが健康であるために食事をしっかり取ることがどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

朝食を毎日食べますかという質問に対して、「毎日食べる」と答えた生徒が78.8%と全国・大阪市とならび高い結果となった。家の人から運動やスポーツを勧められますかという質問に対しては「あまりない」「全くない」と答えた生徒が56.9%と全国・大阪市を上回る結果となった。また、健康であるために運動を行うことはどのくらい大切かという質問に対して「大切」「やや大切」と答えた生徒が96%と全国・大阪市と並ぶ結果となった。健康であるために食事をしっかりとることが大切かという質問に対して、「大切」「やや大切」と答えた生徒が合せて100%と全国・大阪市を上回る結果となった。

今後の取組

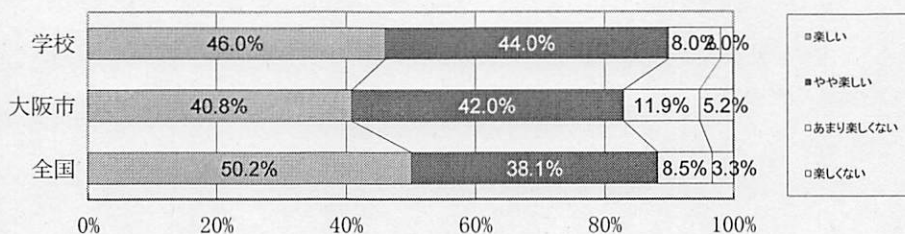
男子に比べて、朝食を毎日食べると答えた生徒が10%高い結果となり、健康であるために食事をしっかりとることが大切だと答えた生徒も「大切」と答えた生徒が94.1%食への関心が高いことが分かった。健康であるために運動が大切だと考える生徒が9割を超える一方で、家の人から運動やスポーツを積極的に勧められている割合は「よくある」と答えた生徒が11.8%と家庭での運動とスポーツへの関心が低いことがわかる。このことを受けて、授業や部活動で運動やスポーツに生涯にわたって親しむ態度を育成できるよう取り組んでいきたい。

保健体育の授業について（男子）

質問
番号 質問事項

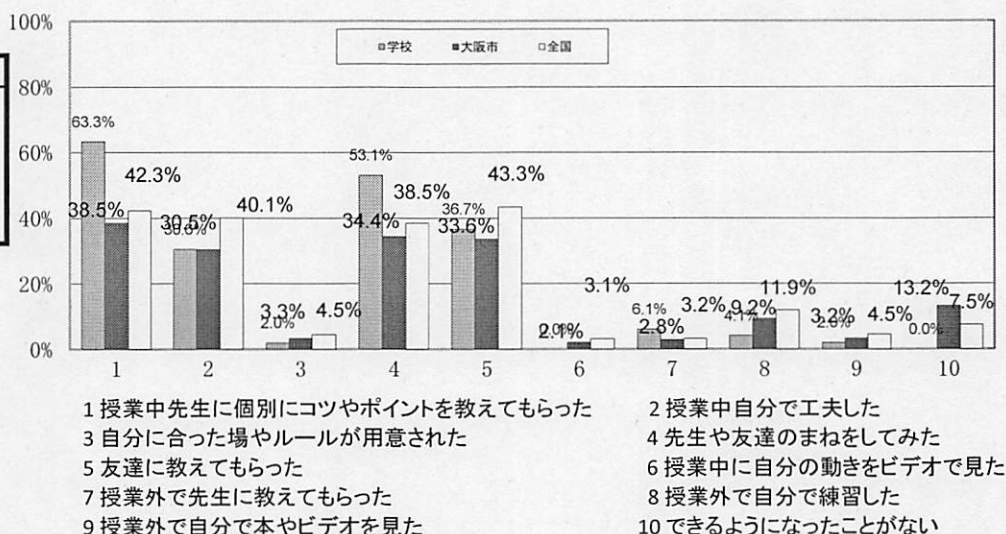
16

保健体育の授業は楽しい
ですか



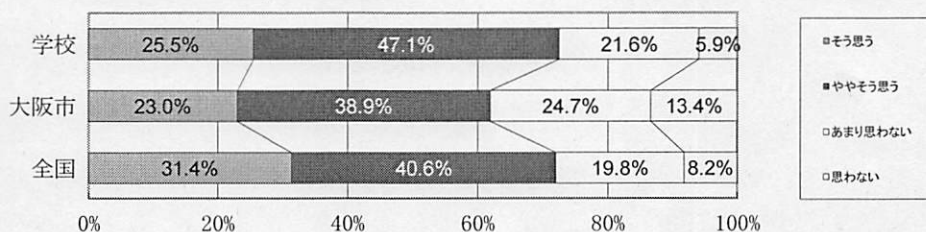
21

これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



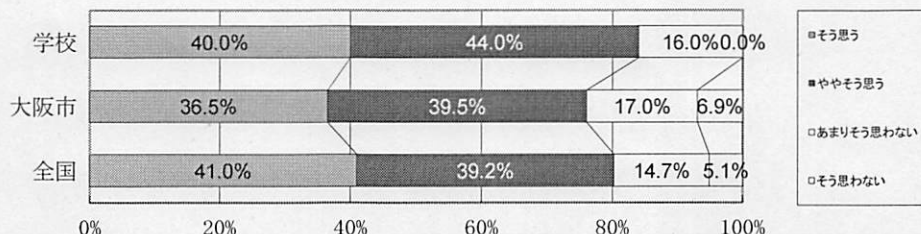
22

保健体育の授業で学んだ
ことを、授業以外の時にも
行ってみようと思いますか。



23

今、保健体育の授業で学
習している内容は、あなた
の将来に役に立つと思いま
すか。



成果と課題

保健体育の授業は楽しいですかという質問に対して、「楽しい」「やや楽しい」と答えた生徒が90%と全国・大阪市を上回る結果となった。体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけについて「できるようになったことがない」と答えた生徒がいなかった。保健体育の授業で学んだことを授業以外でも行いますかという質問に対しては、肯定的な意見が72.6%と全国・大阪市を上回る結果となった。保健体育の授業で学習している内容はあなたの将来に役に立つと思いますかという質問に対しては、肯定的な意見が84%と全国・大阪市を上回る結果となった。

今後の取組

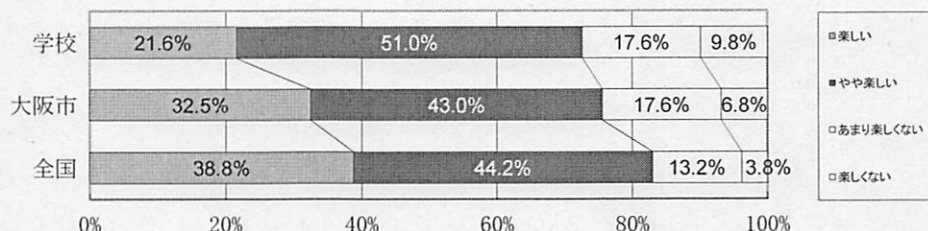
今後も保健体育の授業を通して生徒が生涯にわたって運動やスポーツに親しみ・携わる態度を育てるとともに、授業内で「できた」を経験できるように取り組んでいきたい。

保健体育の授業について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

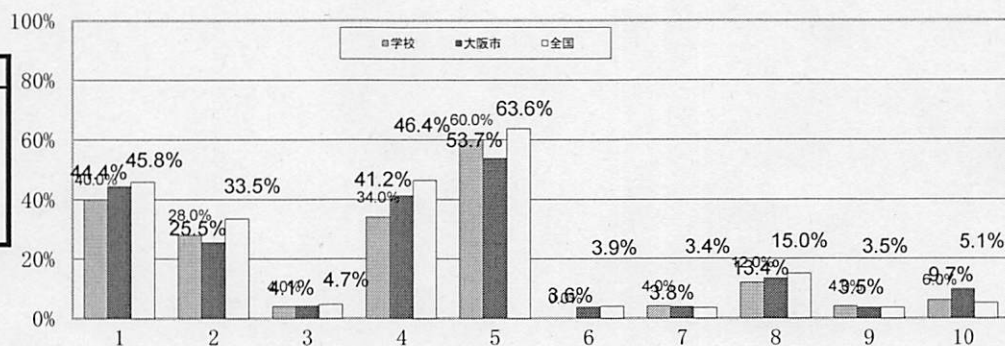
16

保健体育の授業は楽しい
ですか



21

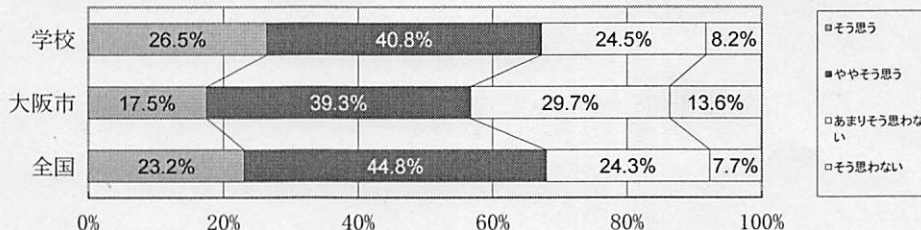
これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

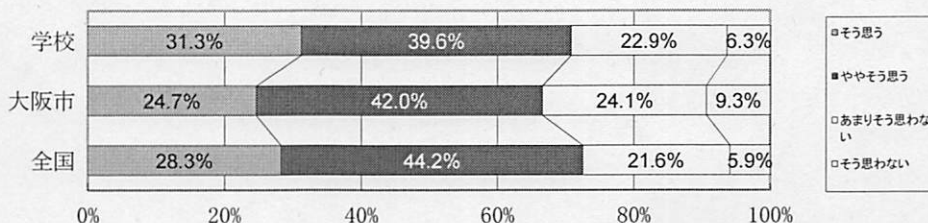
22

保健体育の授業で学んだ
ことを、授業以外の時にも
行ってみようと思いますか。



23

今、保健体育の授業で学
習している内容は、あなた
の将来に役に立つと思いま
すか。



成果と課題

保健体育の授業は楽しいですかという質問に対して、肯定的な意見が72.6%と高い結果となった。体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけについて「できるようになったことがない」と答えた生徒が少ないが6.0%いることが分かった。保健体育の授業で学んだことを授業以外でも行いますかという質問に対しては、半数を超える67.3%の生徒が肯定的な意見だった。保健体育の授業で学習している内容はあなたの将来に役に立つと思いますかという質問に対しては、肯定的な意見が70.9%と全国にならぶ結果となった。

今後の取組

どの項目でも肯定的な意見が多い結果となったが、そうでない結果も少なくない結果となった。この結果を受けて、体育的行事をより充実できるように計画するとともに、授業内で「できた」の体験が増えるようペア・グループワークなどで互いに高め合いながら学習できるように取り組んでいきたい。

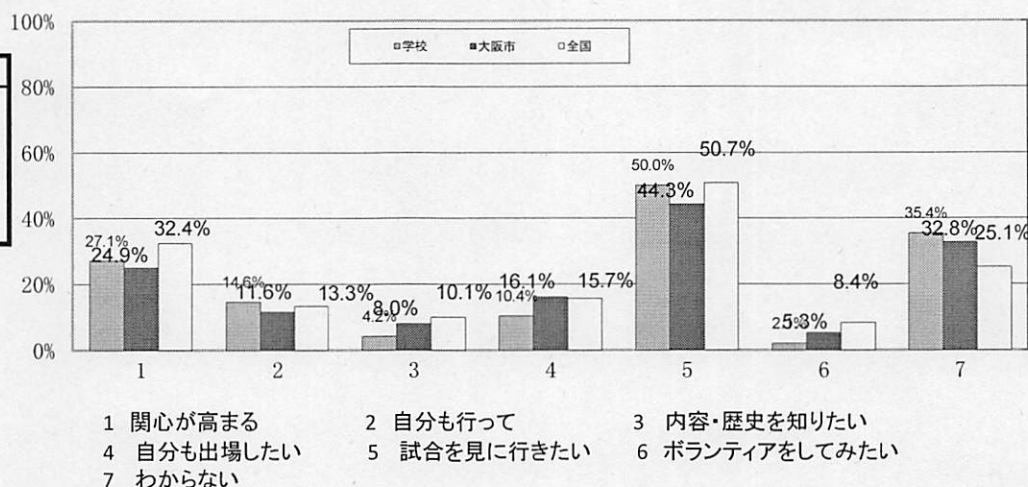
その他（男子）

質問
番号

質問事項

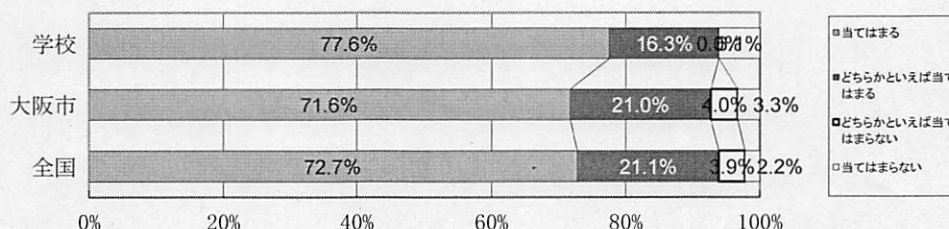
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



30

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちという質問に対して、「自分も出場したい」と答えた生徒が10.4%と全国・大阪市を下回る結果となった。また「わからない」と答えた生徒も全国・大阪市を上回る結果となった。ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあるという質問に対して、「当てはまる」と答えた生徒が、77.6%と全国・大阪市を上回る結果となった。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックへの興味関心があまり高くないことがわかるので競技種目の周知や、自身も出場のチャンスがあることを伝えていきたい。またものごとを最後までやり遂げてうれしかったと答えた生徒が多かった反面「当てはまらない」と答えた生徒も全国・大阪市を上回っているので授業や部活動、体育的行事のなかで達成感を得られるように様々な取組を計画したい。

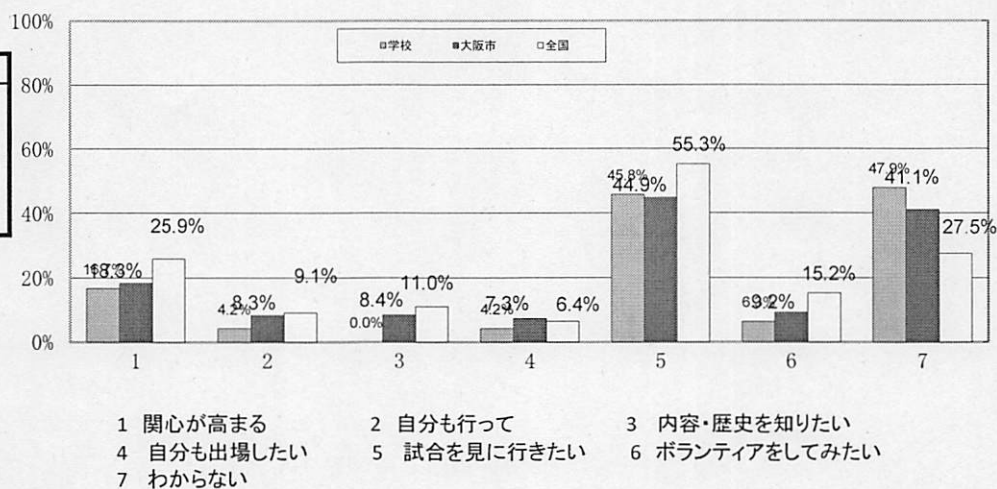
その他（女子）

質問
番号

質問事項

29

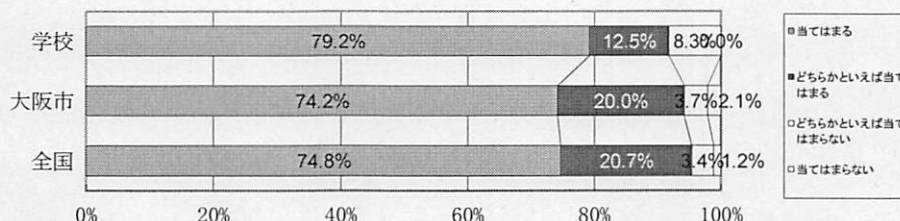
オリンピック・パラリンピックへの気持ち



- 1 関心が高まる 2 自分も行つて 3 内容・歴史を知りたい
4 自分も出場したい 5 試合を見に行きたい 6 ボランティアをしてみたい
7 わからない

30

ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある



成果と課題

オリンピック・パラリンピックへの気持ちという質問に対して、「自分も出場したい」と答えた生徒が4.2%と全国・大阪市を下回る結果となった。また「わからない」と答えた生徒も47.9%と全国・大阪市を上回る結果となった。ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがあるという質問に対して、「当てはまる」と答えた生徒が、79.2%と全国・大阪市を上回る結果となった。

今後の取組

オリンピック・パラリンピックへの興味関心があまり高くないことがわかるので競技種目の周知や、自身も出場のチャンスがあることを伝えていきたい。またものごとを最後までやり遂げてうれしかったと答えた生徒が多かったので、今後も継続して授業や部活動、体育的行事のなかで「やり遂げた」と感じられる場面を増やせるよう取り組みたい。

児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

1 平成27年度の調査結果の概要

区分	結果
①暴力行為の発生件数（件）	13
②いじめの認知件数（件）	3
②いじめの現在の状況で「解消しているもの」の件数の割合（％）	85％
③小・中学校における不登校児童生徒数（人）	8
④高等学校における長期欠席生徒数（人）	
⑤高等学校における中途退学者数（人）	

2 自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
①暴力行為の状況等	校内の生活指導体制の充実と生活指導の強化を図ってきた結果、1学期に多く発生した暴力行為も2学期以降にほとんど見られなくなった。
②いじめの状況等	いじめアンケートや教育相談等を通じての早期発見、早期対応の結果、発生件数はここ数年に比べると抑えられている。認知した3件のいじめ事案のうち2件については、対応後の様子から解消されたと認められ、残り1件については被害生徒のケアというところで継続して支援を行っている。
③小・中学校における不登校の状況等	SSW や SC、こども相談センター等と連携を図ったことで、長期欠席生徒の個々の状況に合わせた支援を展開することができた。その結果、別室登校や曜日固定しての登校など、今後の支援につながるような好ましい変化が現れた生徒が増えた。
④高等学校における長期欠席の状況等	
⑤高等学校における中途退学の状況等	

教務部役割表

係 名	校 務 内 容	係
企画運営係 (小松)	教育課程の編成	小松・李
	教科主任会の運営	小松・李
	運営に関する計画と反省の作成・集約	小松・李
	諸儀式の企画・立案	小松・李
	校務部会の企画・立案	小松・李
	年間計画・月中行事・土曜授業の企画・立案	小松・李
	各学年・各部・各委員会と連絡調整	小松・李
	年間テスト計画企画・立案	小松・李・堀口
	「年間指導計画」の作成・集約	小松・李
	生徒用月中行事作成と配布	小松・李
	公文書処理	小松・李
	教育実習の計画と実施、教育実習渉外分掌処理	小松・李
	予算案の作成・起案	小松・李
	各種調査統計	小松・李
授業時数・ 時間割係 (神谷)	時間割の編成・変更	神谷・中川・相模・小松
	時間割の印刷・配布	神谷・中川・相模・小松
	校時の調整・チャイムの操作	神谷・中川・相模・小松
	授業時間数の確保・統計	神谷・中川・相模・小松
	補欠の割り当て	1年：神谷 2年：飯田 3年：小松
学習研究係 (李)	研修計画の企画・立案	李・松尾圭・堀口
	研究会・研修会・講演会の企画・立案・渉外・案内	李・松尾圭・堀口
	学力保障についての研究	李・松尾圭・堀口
	教員用指導書類の取りまとめ	飯田・白神
図書係 (白神)	学校図書館の運営	李・飯田・白神
	図書購入の計画・実施	李・飯田・白神
	図書委員会の指導	李・飯田・白神
校務支援・ 視聴覚係 (相模)	校務支援 PC の管理・運用・渉外	神谷・相模・松尾圭
	放送設備の管理・運営	神谷・相模・松尾圭
	視聴覚機器（電子黒板、タブレット、ノートパソコン、プロジェクター等）の管理・利用案内	神谷・相模・松尾圭
	視聴覚機器を利用した学習（ICT）の推進	神谷・相模・松尾圭
	文化委員会の指導	神谷・相模・松尾圭
	儀式、各集会等の音響準備	神谷・相模・松尾圭
	進路指導計画の企画・立案	神谷・李・相模・堀口
進路係 (堀口)	高校、職安、職場との連絡、調整	堀口
	進路指導基準・進路指導資料・進路調査の作成	堀口
	卒業生追指導	堀口

学籍係 (飯田)	「日々の出席統計」の入力	担任
	「日々の出席統計」の確認	1年：李 2年：飯田 3年：松尾
	入学・転入学・転退学・進学・卒業・除籍の業務 関係書類の整理保管・関係諸機関への送付	1年：李 2年：飯田 3年：白神
	学齢簿加除訂正通知書の保管・指導要録の訂正	1年：李 2年：飯田 3年：白神
	指導要録の点検・管理（校務支援・市外からの転入学 の場合は、紙媒体）	1年：李 2年：飯田 3年：松尾
	卒業者・修了者台帳の整理・保管	1年：李 2年：飯田 3年：松尾
	教科書・副教材の申請・配布・追加	1年：李 2年：飯田 3年：白神
	指導補助資料の発注・配布	1年：李 2年：飯田 3年：白神
	過年度出席簿の保管	1年：李 2年：飯田 3年：松尾
テスト・成 績関係係 (堀口)	テスト範囲表の作成	1年：神谷 2年：中川 3年：小松
	テスト監督表の作成	1年：神谷 2年：中川 3年：小松
	テスト問題の保管	1年：神谷 2年：飯田 3年：松尾
	テスト個票・度数分布表・成績一覧表の作成・管理	1年：神谷 2年：中川 3年：堀口
	「評価基準」の作成・集約	小松
	「教科別評定一覧」の作成・確認・保管	1年：神谷 2年：中川 3年：松尾
	通知表作成・点検・追加注文	1年：神谷 2年：中川 3年：松尾
	チャレンジテスト、全国学力調査、大阪市統一テスト 担当	1年：神谷 2年：中川 3年：堀口 全員

平成29年度生活指導部役割分担

生活指導部

1年	味本、松尾若
2年	柴田、樋口
3年	古川、岡、濱野
学年外	星見

全体のまとめ役

生徒指導主事《 星見 》 生活指導部長《 柴田 》
 生活指導副部長《 古川 》 女子主担《 古川 》

学年生指主担(学年主任とともに生指上の問題などでまとめ役となる)

1年《 味本 》 2年《 柴田 》 3年《 古川 》

部活動係：部活動の全体の運営、部活動の編成、顧問の調整、施設使用の調整等

《 柴田 》 《 星見 》

生徒会係：

1年《 松尾若 》 2年《 柴田 》 3年《 古川・濱野 》

健全育成教育

1年《 松尾若 》 2年《 柴田 》 3年《 古川 》

その他の役割分担

集会係（集会の有無、集合指揮）

全校集会の企画・有無《 星見 》《 柴田 》

全校集会の集合・指揮《 星見 》《 柴田 》

学年集会の集合・指揮

1年《 味本 》 2年《 柴田 》 3年《 古川 》

物品貸出管理および未返却物品の呼びかけ、生徒手帳配布・再発行

《 柴田 》 《 岡 》 《 樋口 》

学級委員一覧表と認証状の作成・委員会バッジ

《 古川 》 《 濱野 》 《 松尾若 》

学級ボール管理

《 星見 》

遺失物・拾得物の保管・管理

《 岡 》 《 樋口 》

平成 29 年度 健康教育部 係分担

部長（堺） 保健主事（金田）

係	内容	担当
設備	・職員室、ロッカー等の職場環境の整備	堺、金田
	・各教室、特別教室の整備、点検、管理	吉岡、堺
	・備品整備、点検、管理	吉岡、堺
	・エアコン、扇風機の使用管理	吉岡、堺
環境美化	・清掃分担区域の配当	笠原
	・清掃用具の調整・配布	笠原、境
	・清掃用具の購入計画	堺
	・大掃除、油引きの企画・立案	笠原
	・緑化推進、花壇の管理	北岡、堺
	・環境委員会の運営	堺、北岡、金田
	・廃棄物の管理	金田
保健	・健康診断の企画	西口
	・環境衛生検査の企画・実施	西口
	・外部関係諸機関との連絡・調整	西口、金田
	・保健調査の実施・管理	西口
	・校内救急体制の立案	西口
	・性教育の企画・立案	西口、境、笠原、金田
	・心肺蘇生法講習会の企画	西口
給食	・毎月の配布物、掲示物	境
	・給食システム	堺、金田
	・外部関係諸機関との連絡・調整	堺、金田
	・アレルギー生徒への対応	西口、金田
	・給食関係資料の保管、全体への伝達	金田、堺
防災	・防災訓練の企画・実施	堺、吉岡
	・避難訓練の企画・実施	堺、吉岡
	・外部関係諸機関との連絡・調整	堺

庶務部（４名） 主 吉川 副 谷

校 務 内 容			担当者	校 務 内 容			担当者
給与 福利厚生関係	昇給・昇格・ 各種手当 勤態事務 年末調整 教職員給食費	須波		物 品 係	備品の購入 台帳の整理	吉川	
				徴 収 金 係	収入事務 支出（契約）事務	須波	
					出納事務 給食費	吉川	須波
	職員転入転出 退職関係 人事記録カード 共済組合・互助組合 その他福利厚生	須波		文 書 係	文書受付	須波	
					勤務情報システムの 整理	教頭	
					各種証明書発行 在学・卒業・学割	須波	
公費関係	学校維持運営費	吉川		環 境 整 備	環境整備・美化 搬出・連絡業務 営繕関係連絡・交渉	谷 中川	
	就学援助費 認定 支給	須波					
旅費関係	管外出張旅費 管内出張旅費	須波					